

給油式レシプロコンプレッサ潤滑油点検実施のお願い

拝啓 平素はアネスト岩田のコンプレッサをご愛用いただき誠にありがとうございます。
さて、「給油式レシプロコンプレッサ」をご使用のお客様におかれまして、潤滑油の点検不足に起因する不具合が散見されます。
長くご愛用いただくために、コンプレッサの潤滑油点検の方法を改めてご案内申し上げます。

敬具

記

1. 潤滑油はメーカー純正油をご使用ください。

メーカー純正油には、インターネットやホームセンター等が取り扱う安価な市販品と比較して、以下の特徴があります。

- ① 温度により潤滑油の粘度が変化しにくい。
- ② カーボン（潤滑油の炭化物）生成の抑制、防止効果に優れている。
⇒カーボンが堆積すると発火・爆発するリスクが高まる。
- ③ 潤滑性に優れる。
⇒ピストンリングが摩耗しにくい。



カーボンが堆積した配管



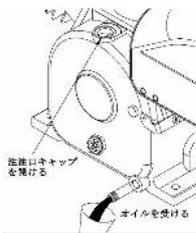
純正油

2. 潤滑油点検を行ってください。

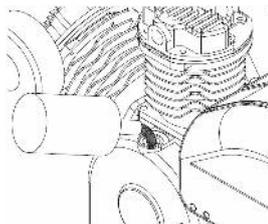
潤滑油が切れた状態、著しく汚れた状態での圧縮機のご使用は、潤滑不良により圧縮機本体の焼き付きに至りやすくなります。場合によっては、重大な事故に繋がる危険性がありますので、取扱説明書またはコンプレッサに貼付された注意事項をご参照のうえ、潤滑油を適切な状態に維持してください。

【潤滑油交換方法】

1. 潤滑油を抜く



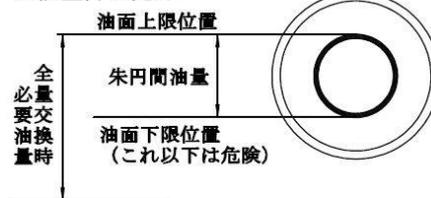
2. 潤滑油を入れる



3. 潤滑油充填量

油量計の朱円間の範囲とする

※油量計の見方



一般的に、潤滑油切れにより圧縮機本体が焼き付いた場合、以下の事象が発生する危険性があります。

- ① サーマルリレー作動
- ② 接続棒折損
- ③ クランク軸折損
- ④ フライホイールプーリー破損（飛散の危険性あり）
- ⑤ シリンダ破損（飛散の危険性あり）

尚、現行品におきましては、「給油式レシプロコンプレッサ」をご使用のお客様のオイル管理をサポートして、オイルの点検時期をお知らせするオプション品「オイルアラーム」もご用意しております。詳しくは、お近くの販売店・弊社支店営業所までお問い合わせください。